

100年の経験と技術を結集 チームプレーでトータル提案を

笹嶋工業株式会社
代表取締役

笹嶋 明 人 氏



会社の沿革を教えてください。

創業は1919（大正8）年です。私の曾祖父の笹嶋佐久馬は京都で電気工事を学び、故郷へ戻ったのを機に、送電線、配電線の工事を行う、県内初の電気工事請負専門業を始めました。まだ県西部の河川には発電所もない時代で、砺波地域への電気の普及事業をゼロから始めました。

送電線整備とともに変電所などの工事も請け負っていたと思われ、

昭和8年には土木建築工事を加えた総合建設業になっています。

複合的な受注へシフト

現在は、住宅建設や太陽光発電も行い、土木では独自の落石防護用フェンスを開発して施工しており、売上高の比率は送電部門が50%、配電・内線部門が20%、土木・建築部門が30%です。

順調に事業領域を拡大されてこられたわけですね。

昔は、「送電工事をやるなら鉄塔の基礎工事もできないか?」、「電気工事の知識を生かして内線工事もやれないか?」と自然に広がっていったのだと思います。

今は、複合的な仕事を意識した提案をしています。例えば、土木から配電、内線までを一貫して行う工事や、電線の地中埋設工事なども手掛けています。以前は社内の各部門が独立した感じがありましたが、会社を1つのチームとして考え、それぞれの技術を1つの現場に生かしています。

また、各部門の工事を実施から管理まで一括して行ってきた経験が現在の技術力にも繋がり、当社の強みともなっています。

幅広い技術と経験が相乗効果を生む体制にされたのですね。

もう1つ意識しているのは地元での仕事を増やすことです。送電線の工事は電気需要の落ち着く秋に集中的に行われ、しかも現場が遠方だとしばらく休みもとれず、帰って来られないこともあり、今の若い人には難しい環境です。

社員の派遣を交替で行うようにし、最近では依頼主が工事期間の延長に理解を示してくれるので、以前のように休みも取れないということはなくなりましたが、さらに地元の仕事を増やすことで、社員の負担を軽減するように心がけています。

社内を1つのチームとしてまとめるための取り組みはありますか。

全社員での運動会を1981年から行っています。また、新年会も全社員が集まって開きます。社員研修は部署ごとですが、毎年実施しています。

新入社員の採用はどうですか。

人材の確保は楽ではありません

が、毎年1~3人を目標に採用を行っています。

新入社員には入社当初からどんどん声を掛けて、会社の思いを伝え、会社と仕事に慣れてもらうように努めています。その思いが伝わっているのか、離職率は低いです。

女性社員の比率は?

圧倒的に男性が多く、女性は建築管理と内線工事にそれぞれ1人、あとは事務職ですが、事務の女性社員も自分のヘルメットと作業服を持っていて、現場パトロールに参加しています。この会社がどんなことをしているのかを知り、社員が現場で頑張る姿を見て欲しいのです。現場から帰った社員への労いの気持ちも変わるでしょうし、女性の目線から意見が出ることも期待しています。

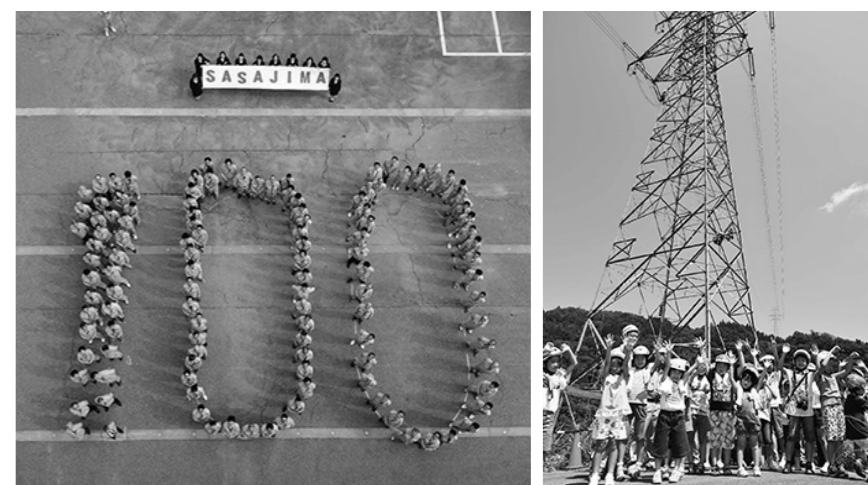
仕事を知るのはいいことですね。

家族向けにも、夏休みに子供参観日を設け、貸切バスで現場を回ります。お父さんの仕事を家族に理解してもらうのが目的ですが、いい仕事だと感じて、将来入社してくれたら嬉しいですね。

企業理念には「感謝と人間尊重」を掲げられています。

先代から受け継いだ理念ですが、お客様あっての私達、社員あっての会社だと、感謝の気持ちを忘れずに、人を尊重した会社でありたいということはありません。

また地域に感謝し、地域のインフラを守っていくことが大切な使命だと思っています。地域への感謝として、毎月第1金曜日には近所の道路清掃をしています。そして毎年7月の全国安全週間の期間には、全社員で地域の清掃活動をし、高所作業車を出して街の街路灯の清掃もしています。



子供参観の日

100周年でさらに結束

4月に100周年の記念式典を開かれました。

お客様向けと、社員・OB向けと2部構成で、計約300人の方にご出席いただきました。当初、式典は感謝を伝える機会だと思っていたのですが、会社が1つにまとまる良い機会にもなりました。

実行委員会を作り、運営をほとんど社員に任せていたのですが、みんなが話し合い、お客様のおもてなしやOBへの配慮などを自発的に考えて、積極的に準備してくれたお陰で、出席者も喜んでいただけの充実した式になりました。

今後の目標を教えてください。

電気と土木を軸に、ライフラインを守っていくことは変わりません。ですが、社会の変化に対応できる会社でなくてはなりません。

2020年に送電の分離が実施されます。工事形態に大きな変化はないと思いますが、会社として常

略歴

1970年5月生まれ。南砺市(旧福野町)出身。1993年4月東光電気工事(株)入社。2000年2月笹嶋工業(株)入社、2012年6月代表取締役就任。

に対応できる体制を整えていくことは必要だと考えています。さらには、太陽光、風力、地熱、蓄電池等、新しいエネルギーへの変化にも対応していきます。

また、高度成長期に急速に発達したインフラの改修、建て替えへの対応、さらには突然の自然災害への対応など、様々な社会の要求に柔軟に応えられる、しなやかな会社でありたいと思っています。

座右の銘を教えてください。

「日進月歩」です。日々前進していきたいと思います。

会社概要

笹嶋工業株式会社

創業：1919(大正8)年
所在地：南砺市三ツ屋28
資本金：4,000万円
事業内容：総合建設業(電気工事、土木工事、建築工事、管工事、造園工事、舗装工事、水道施設工事、消防施設工事、鋼構造物工事、電気通信工事等)

従業員数：128名(2018年5月現在)
事業所：砺波支店、富山営業所、金沢営業所、福光営業所、関西出張所、中部出張所、新潟出張所

関連会社：東洋道路興業(株)、アースコンサルタント(株)、(有)丸八工業

URL：http://www.sasajima.net/